

人が輝き、夢が生まれる 悠久と躍動のまち 四万十市

平成27年度当初予算 総額358億円

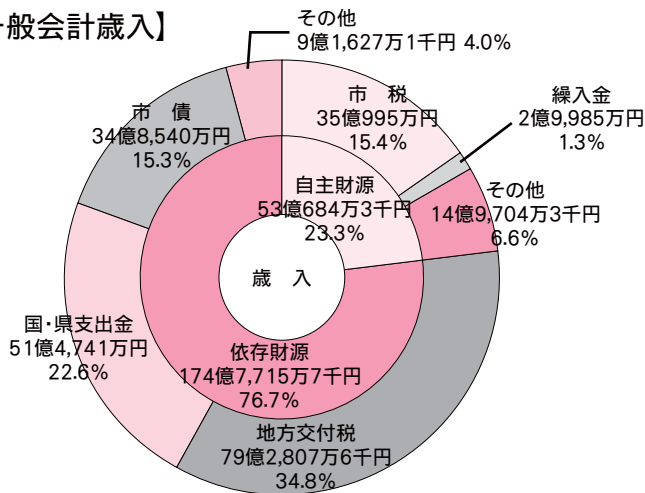
区分	平成27年度 予算額	伸率 (%)
一般会計	227億8,400万円	5.2
特別会計(14会計)	120億9,518万円	6.4
国民健康保険事業勘定	49億3,905万円	13.1
国民健康保険診療施設勘定	3億1,419万円	△ 4.7
奥屋内へぎ地出張診療所	548万円	△ 4.7
後期高齢者医療	4億7,780万円	△ 0.4
下水道事業	9億3,079万円	△ 10.7
と畜場	2億2,575万円	△ 32.3
幡多公設地方卸売市場事業	2億1,374万円	1,545.6
住宅新築資金等貸付事業	95万円	△ 27.9
鉄道経営助成基金	4億 46万円	0.0
農業集落排水事業	5,152万円	3.9
幡多中央介護認定審査会	666万円	0.5
介護保険保険事業勘定	38億2,401万円	3.9
簡易水道事業	6億8,968万円	7.4
園芸作物価格安定事業	1,510万円	0.0
企業会計(2会計)	29億6,058万円	△ 24.6
水道事業	7億3,343万円	△ 0.3
病院事業	22億2,715万円	△ 30.3
合計(各会計間の重複額除く)	357億5,136万円	2.3

■概要
平成27年度当初予算は、本年度より始まる総合計画に掲げる将来的な都市像である、「人が輝き、夢が生まれる 悠久と躍動のまち 四万十市」を目標として事業を厳選し、予算編成を行いました。

一般会計においては、前年度比5.2%の増額、特別会計では6.4%の増額、企業会計では24.6%の減額となり、各会計間の重複額を除いた合計は2.3%の増額となりました。地震津波対策を引き続き着実に実施するほか、道の駅情報発信拠点施設整備事業が本格化したこと、中村地域の中学校給食開始のため、給食センターの建設に着手することなどにより増加しています。

予算規模は、一般会計で227億8400万円、特別会計(14会計)で120億9518万円、企業会計(2会計)で29億6058万円、各会計間の重複を控除した総額は357億5136万円となります。

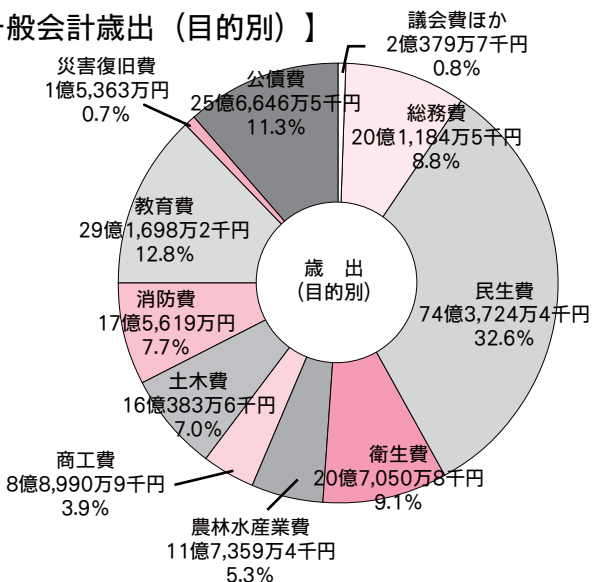
【一般会計歳入】



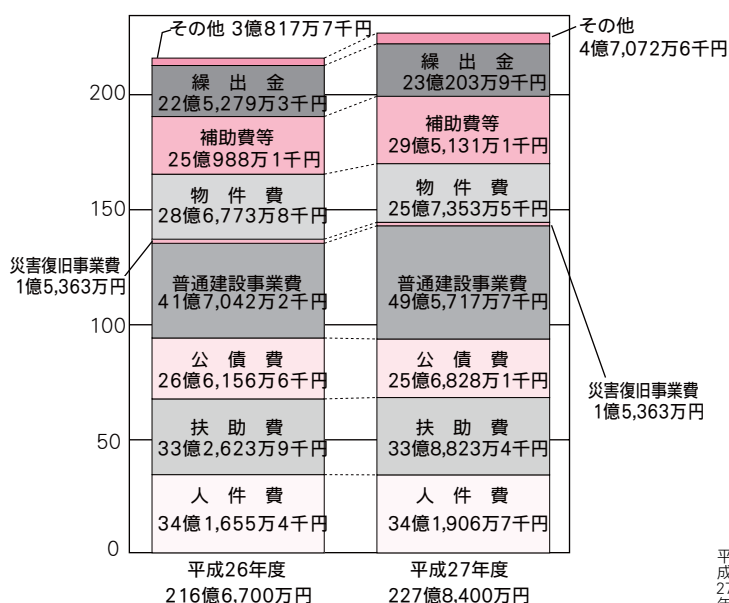
■一般会計
次のグラフは一般会計の歳入歳出予算の状況をまとめたものです。

歳入の性質別では、義務的経費である人件費、扶助費、公債費の合計は、前年度比0.3%の減額となっています。普通建設事業費は前年度比18.9%の増額となっています。総合支所・消防分署庁舎建設事業の庁舎完了による減額の一方、地震津波対策、道の駅情報発信拠点施設整備、給食センターの建設などによる増加です。

【一般会計歳出(目的別)】



【一般会計歳出(性質別)】



■主要事業など
総合計画に掲げる次の6つの柱について、主な事業や新規の事業とその予算額を掲載します。
※【新】は本年度新規の事業

自然と共生した安心で快適なまちづくり

都市防災推進事業【8億8881万2千円】
八束地区の防災拠点基地、防災行政無線、耐震性貯水槽、東山地区の防災備蓄倉庫などの整備を行います。

地震津波対策事業【1999万円】
藤ノ川地区の臨時ヘリポート整備、非常用食料の備蓄などを行います。

災害時医療救護体制整備【81万9千円】
市内の医療救護所に災害医療備蓄品を整備します。

住宅用太陽光発電システム設置補助【540万円】
市内住宅への太陽光発電システムの整備に対する補助を行います。

にぎわいと住みやすさのあるまちづくり

公共交通の維持【1億5543万7千円】
土佐くろしお鉄道線に対する経営助成、高知西南交通線に対する路線運行バス運営費補助、テマンド交通運行などを継続して実施します。

道路整備【8億908万3千円】
防災・安全社会資本整備交付金事業、辺地対策、市単独道路整備などを行います。

【新】都市計画マスタープラン作成
【767万4千円】

高速道路延伸など社会情勢の変化を踏まえた本市のまちづくりの方向性を検討します。

地域資源を活かした産業の力みなぎるまちづくり

産業振興推進総合支援【1000万円】
商品の生産段階から販売段階までの取組や観光産業の振興に資する取組を総合的に支援します。

道の駅情報発信拠点施設整備
【6億2383万6千円】

本年度末のオープンに向け、西土佐地域の農林水産物や加工品、観光資源などの地域資源の販売、情報発信の拠点施設として道の駅を整備します。



道の駅 外観イメージ図

緊急雇用創出臨時特例基金事業(地域人づくり)【11事業 3898万2千円】
前年度より引き続き、失業者の雇用に向けた支援を行います。

【新】レンタル畜産施設等整備
【3942万4千円】
橘地区において、畜産施設等の整備補助を行います。

【新】観光大使設置【62万7千円】
本市出身の著名人やゆかりのある方に市の広報活動を依頼します。

豊かな心と学びを育むまちづくり

【新】放課後等学習支援【142万8千円】
中村中学校、中村西中学校、下田中学校の3校に、放課後等に補充学習を行うための学習支援員を配置します。

給食センター等整備事業
【3億7123万5千円】

中村地域における中学校給食実施に向けて、具同小学校敷地内に給食センターを整備し、併せて各中学校の受入体制の整備を行います。

学校施設耐震化事業
【12億2413万3千円】

下田小学校、東中筋小学校、中村中学校、西土佐中学校の体育館改築工事、具同小学校体育館の吊天井の耐震補強工事を行います。

子ども読書活動推進【253万6千円】
子どもの健やかな成長に資することを目的として、10カ月健診の時に絵本を配付し読み聞かせを行う「ブックスタート」を実施します。

また、学校図書館相互間および市立図書館との連携による本の貸し借りなど物流システム等の研究を行い、子どもたちの読書環境の充実を図ります。

【新】四万十川ウルトラマラソン案内板設置
【276万4千円】

昨年度の台風11号により被災した蔵岡地区のスタート地点案内板の再設置を行います。



ウルトラマラソン

健やかで笑顔のある支えあいのまちづくり

健康・福祉地域推進事業【2832万3千円】
住み慣れた地域でいつまでも元気に安心して暮らすことができる地域を目指し、地域での健康づくりの取り組みを推進するとともに、高齢者等の見守り活動など、地域の連携強化を図ります。

歯科口腔事業【381万1千円】

在宅の要介護状態の方を訪問し、口腔内のケアを行う在宅口腔ケア事業と、年度末に30歳から70歳までの節目の年齢に達する方に、定期検診とセルフケアを行うきっかけとして歯科口腔検診を促す、歯科口腔検診事業を行います。

八束保育所移転【4172万1千円】
津波による浸水の恐れのある同保育所を高台へ移転します。

子育て世帯臨時特例給付金給付【1857万円】
対象となる児童1人につき、3千円を給付します。

協働で築く地域力のあるまちづくり

集落活動センター活動支援
【1673万9千円】

大宮地区の集落活動センターの整備および活動を支援します。

地域おこし協力隊【1978万8千円】
中村地域2名、西土佐地域4名を雇用し、地域外からの視点を取り入れ、中山間地域の活性化を支援します。

【新】市制施行・合併10周年記念事業
【1347万3千円】

本年度に市制施行・合併10周年を迎えることを記念して、式典の開催、市内出身漫画家の漫画展、産業祭を実施します。